

第80期
中間報告書

(平成27年3月1日から
平成27年8月31日まで)

岡谷鋼機株式会社

証券コード 7485

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第80期上半期(第2四半期連結累計期間：平成27年3月1日から平成27年8月31日まで)を終了いたしましたので、ここに営業の概況等をご報告申し上げます。

平成27年10月

取締役社長

岡谷篤一



営業の概況

営業の経過及び成果

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米
国経済が堅調に推移したものの、中国経済の減速や
ASEAN諸国をはじめとする新興国の成長ペース鈍化
が顕在化しました。日本経済は、個人消費や輸出が足
踏みする中、設備投資と住宅着工件数は底堅く推移し
ました。

このような状況下にあって、当第2四半期連結累計
期間における売上高は、4,079億33百万円で前年同期
比4.4%の増収となりました。

損益につきましては、売上総利益が275億51百万円
(前年同期比7.8%増)、営業利益が88億66百万円(前
年同期比21.0%増)、経常利益が113億39百万円(前
年同期比22.2%増)、四半期純利益は77億67百万円
(前年同期比39.0%増)となりました。

中間配当金につきましては、1株あたり80円とし、
支払開始日を10月30日とさせていただきます。

通期(平成27年度)の見通し

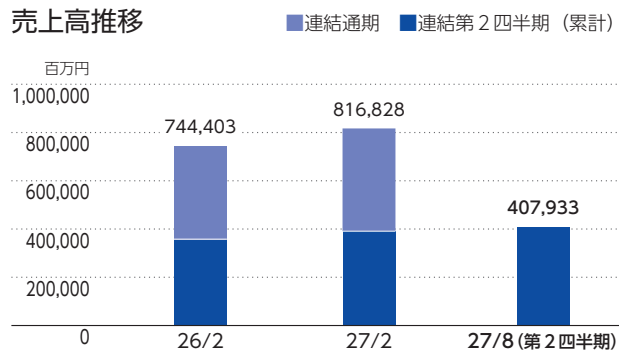
通期の業績予想につきましては、概ね計画通りに推
移しており、売上高は8,500億円を予想しております。

経常利益は200億円、当期純利益は130億円を予想
しております。

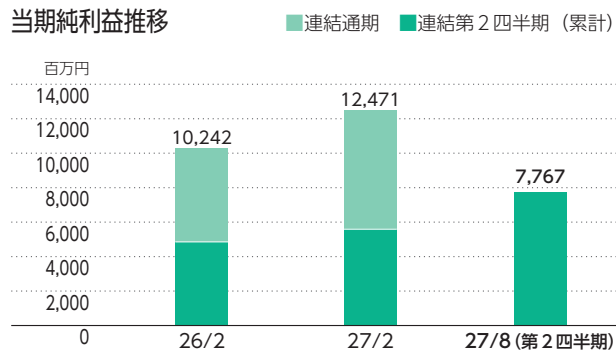
株主の皆様には、今後とも一層のご支援、ご協力を
賜りますようお願い申し上げます。

財務ハイライト

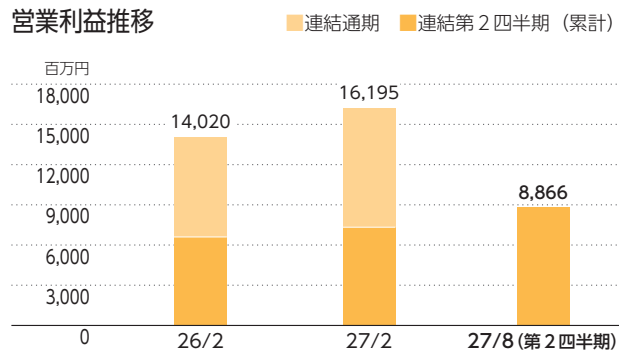
売上高推移



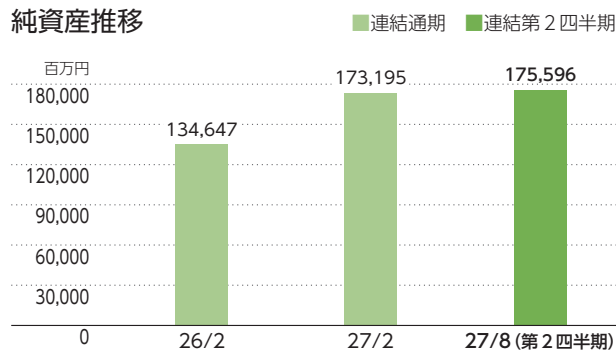
当期純利益推移



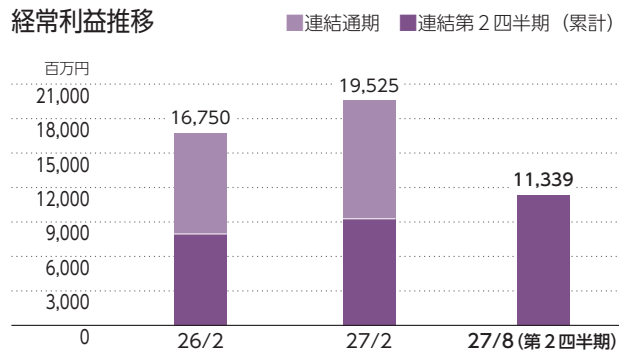
営業利益推移



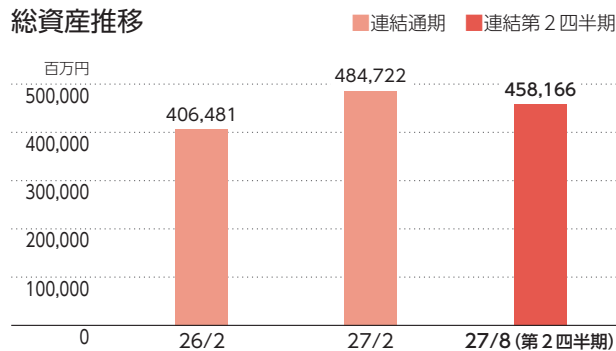
純資産推移



経常利益推移



総資産推移



トピックス

1. マレーシア現地法人設立について

マレーシア クアラルンプール市に2015年3月5日付で商社現地法人であるマレーシア岡谷鋼機会社を設立しました。成長が続く同地域における当社グループの営業拠点として、今後の取引拡大を目指します。



マレーシア岡谷鋼機会社の入居ビル

2. 北関東支店開設について

製造業の集積地である北関東地域でのビジネス拡大のため、小山営業所（栃木県）を強化し、2015年3月1日付で北関東支店としました。

3. 安城支店開設について

製造業の集積地である安城地域において、地域に密着した営業活動を行い今後の取引拡大を目指し、2015年9月1日に安城支店を開設しました。



安城支店

4. 子会社合併について

岡谷サービス株式会社は、2015年3月1日付で岡谷ビルディング管理株式会社を吸収合併しました。経営資源の有効活用により、業務品質の向上、コスト削減を図ります。

5. 子会社設立について

営業事務の集約化により業務効率を高め、業務品質の向上を図ることを目的とし、営業事務の受託業務などを行う子会社、岡谷ビジネスサポート株式会社を2015年8月4日に設立しました。

6. チャリティーコンサート開催について

社会貢献活動の一環として、2015年7月29日に愛知県芸術劇場コンサートホールにおいて「OKAYA CHARITY CONCERT 2015 ～感謝の夕べ～」を開催しました。



多くの皆様にご賛同いただき、チケット売上金と当社からのマッチングギフト、また、皆様からお預かりしました募金を合わせ、合計382万円余を社会福祉法人愛知県共同募金会に募金しました。

7. ネパール地震被害への義援金寄付

2015年4月25日にネパールで発生した地震による被災者の方々に対し、グループ11社と共に、総額約50万円を義援金として寄付しました。

8. 台風18号豪雨被害への義援金寄付

2015年9月9日より栃木県、茨城県、宮城県を中心に発生した記録的豪雨災害による被災者の方々に対し、50万円を義援金として寄付しました。

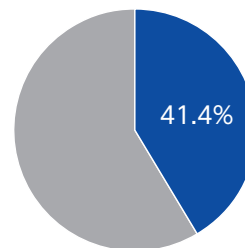
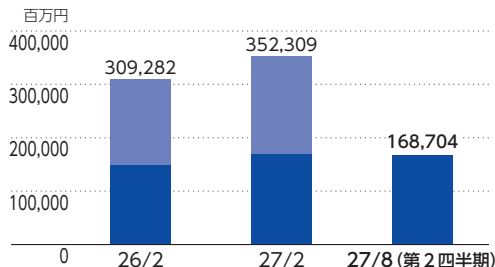
セグメント情報

鉄 鋼



鉄屑、棒鋼、鋼矢板、H型鋼、鋼板、鋼管、機械構造用炭素鋼、合金鋼、軸受鋼、工具鋼、ステンレス鋼 他

売上高推移



鉄鋼部門では、建材及び薄板関連で在庫調整が長引くなど低調でした。特殊鋼部門では、自動車・建設機械等の国内生産減により、微減となりました。

また、海外では、北米・アジア向けが順調でした。

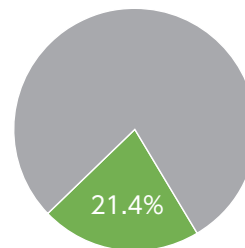
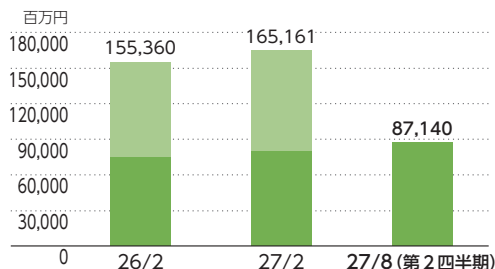
鉄鋼セグメント全体では、売上高は1,687億4百万円（前年同期比0.5%減）となりました。

情報・電機



銅・アルミ、レアアース、電子部材、汎用電機品、映像機器、半導体・周辺電子部品、ソフトウェア開発・販売 他

売上高推移



非鉄金属部門では、国内は原材料の需要低迷により減少しましたが、海外は電子部材他が北米・アジアで順調でした。

エレクトロニクス部門では、通信及び自動車関連を中心に順調でした。

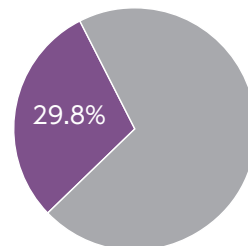
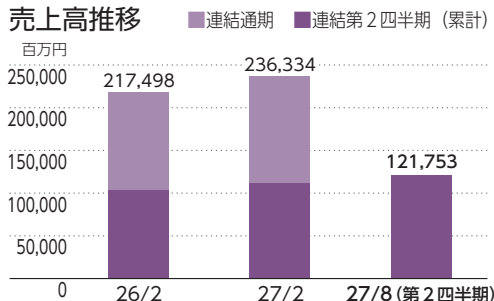
情報・電機セグメント全体では、売上高は871億40百万円（前年同期比8.4%増）となりました。

産業資材



工作機械、工具、産業用ロボット、自動車部品、合成樹脂原料、樹脂成形品、環境・リサイクル対応設備、半導体・電子関連設備機器 他

売上高推移



化成品部門では、原油相場に伴う樹脂価格の下落により売上高が減少しました。

メカトロ部門では、国内外の自動車関連を中心に設備機械、部品・工具が順調でした。

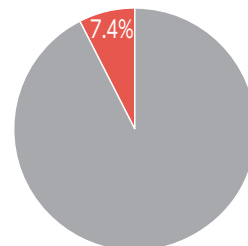
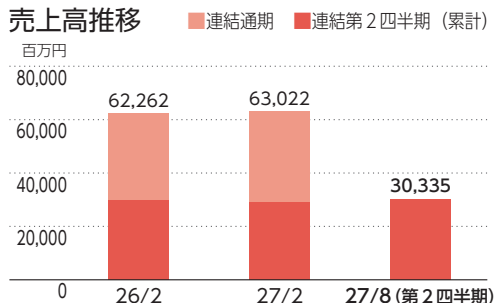
産業資材セグメント全体では、売上高は1,217億53百万円（前年同期比8.8%増）となりました。

生活産業



配管資材、住設機器、住宅用資材、不動産開発、分譲マンション、水産物、畜産物、倉庫業 他

売上高推移



配管住設部門では、環境関連及び配管資材が堅調に推移し、また建設部門では設備工事が増加しました。

食品部門では、水産物の輸入及び加工食品の販売が堅調でした。

生活産業セグメント全体では、売上高は303億35百万円（前年同期比4.7%増）となりました。

四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結会計期間 (平成27年8月31日現在)	前連結会計年度 (平成27年2月28日現在)
資産の部		
流動資産	266,628	282,715
固定資産	191,537	202,007
有形固定資産	41,150	40,845
無形固定資産	1,975	2,084
投資その他の資産	148,412	159,077
資産合計	458,166	484,722
負債の部		
流動負債	222,285	242,376
固定負債	60,284	69,151
負債合計	282,569	311,527
純資産の部		
株主資本	103,565	96,574
資本金	9,128	9,128
資本剰余金	7,798	7,798
利益剰余金	87,092	80,100
自己株式	△ 453	△ 452
その他の包括利益累計額	63,569	68,348
その他有価証券評価差額金	55,716	60,250
繰延ヘッジ損益	△ 5	15
為替換算調整勘定	2,843	3,023
退職給付に係る調整累計額	5,014	5,058
少数株主持分	8,461	8,272
純資産合計	175,596	173,195
負債純資産合計	458,166	484,722

四半期連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間 (平成27年3月1日から 平成27年8月31日まで)	前第2四半期連結累計期間 (平成26年3月1日から 平成26年8月31日まで)
売上高	407,933	390,882
売上原価	380,382	365,323
売上総利益	27,551	25,558
販売費及び一般管理費	18,684	18,229
営業利益	8,866	7,329
営業外収益	3,553	3,138
営業外費用	1,079	1,190
経常利益	11,339	9,277
特別利益	156	88
特別損失	9	2
税金等調整前四半期純利益	11,487	9,363
法人税、住民税及び事業税	3,570	3,634
法人税等調整額	△ 148	△ 104
少数株主損益調整前四半期純利益	8,065	5,833
少数株主利益	298	247
四半期純利益	7,767	5,586

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間 (平成27年3月1日から 平成27年8月31日まで)	前第2四半期連結累計期間 (平成26年3月1日から 平成26年8月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,019	6,248
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,013	△ 2,097
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 839	△ 3,936
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 7	△ 192
現金及び現金同等物の増減額	158	21
現金及び現金同等物の期首残高	8,675	8,801
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,833	8,822

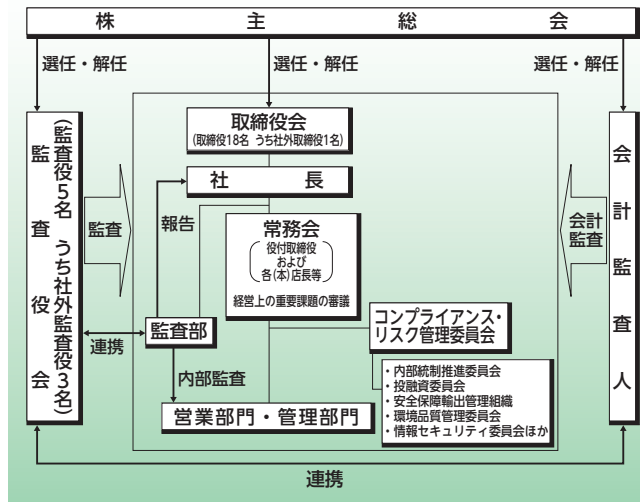
内部統制システムに関する基本的な考え方およびその整備状況

1. 基本的な考え方

企業としての社会的責任を自覚し、コーポレート・ガバナンス、コンプライアンスおよびリスク管理を経営の重要な課題と位置付けており、課題達成のためのインフラとして内部統制システムを位置付け、継続的に充実・強化を図っております。

2. 整備状況（詳細は当社ホームページをご参照ください。 <http://www.okaya.co.jp/>）

- ① 取締役・使用人の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制
- ② 取締役の職務の執行に係る情報の保存および管理に関する体制
- ③ 損失の危険の管理に関する規程その他の体制
- ④ 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
- ⑤ 当社および子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制
- ⑥ 監査役の職務を補助すべき使用人に関する体制と当該使用人の取締役からの独立性に関する事項
- ⑦ 取締役および使用人が監査役に報告するための体制その他監査役への報告に関する体制および監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制



利益配分に関する基本方針および株主優待について

1. 配当政策

当社グループは、株主に対する利益還元を企業経営の重要政策の一つと考えており、競争力を維持・強化して株主資本の充実に努めつつ、配当を行うことを基本方針としております。

2. 株主優待

当第2四半期末（平成27年8月期）株主優待として、8月末所有株式数200株以上の株主様に、《山の幻 愛知米ミネアサヒ5kg》をお贈りいたします。

また、当期末（平成28年2月期）所有株式数100株以上の株主様に、《山の幻 愛知米ミネアサヒ5kg》をお贈りする予定です。

会社概要 (平成27年8月31日現在)

会社概要

商号	岡谷鋼機株式会社 OKAYA & CO., LTD.
所在地	名古屋市中区栄二丁目4番18号
創設	寛文9年(1669年)
設立	昭和12年(1937年)
資本金	91億28百万円
事業	国内販売・輸出入貿易業・建設業・ 倉庫業・不動産業
従業員 URL	連結 4,916名 単体 686名 http://www.okaya.co.jp/

役員

代表取締役社長	岡谷 篤一
代表取締役副社長	川松 康吉
代表取締役専任常務	馬場 紀彰
代表取締役専任常務	二宮 秀司
代表取締役専任常務	稲生 健
代表取締役専任常務	岡谷 剛宣
代表取締役専任常務	田内 文彰
代表取締役専任常務	和田 宗隆
代表取締役専任常務	矢野 勝
代表取締役専任常務	坂下 光
代表取締役専任常務	北内 和一
代表取締役専任常務	河村 元輝
代表取締役専任常務	田村 志雄
代表取締役専任常務	田村 晴憲
代表取締役専任常務	田村 雄二
代表取締役専任常務	石田 純
代表取締役専任常務	田中 宏
代表取締役専任常務	栗川 由賀
代表取締役専任常務	田中 次

ネットワーク

1. 当 社

本社・名古屋本店	名古屋市中区栄二丁目4番18号
東京本店	東京都千代田区丸の内一丁目9番1号 (丸の内中央ビル) 東京都新宿区西新宿三丁目7番1号 (新宿パークタワー)
大阪店	大阪市西区新町一丁目27番5号
国内支店	豊田、刈谷、北関東(小山市)、 静岡、浜松、北海道(苫小牧市)、 東北(仙台市)、新潟、 北陸(富山市)、中国(広島市)、 九州(福岡市)

2. 関係会社等

国内

(株)NaITO(東京都他)、岡谷マート(株)(東京都他)、岡谷鋼機九州(株)(福岡市他)、東海プレス工業(株)(愛知県弥富市)、中部合成樹脂工業(株)(愛知県豊川市他)、岡谷建材(株)(東京都他)、岡谷物流(株)(名古屋市他)、六合エレメック(株)(名古屋市他)、岡谷スチール(株)(名古屋市他)、岡谷エレクトロニクス(株)(横浜市他)、岡谷機電(株)(名古屋市他)、(株)岡谷特殊鋼センター(愛知県丹羽郡)、東海岡谷機材(株)(愛知県刈谷市他) 他

海外

米国岡谷鋼機会社、カナダ岡谷鋼機会社、メキシコ岡谷鋼機会社、ブラジル岡谷鋼機会社、欧州岡谷鋼機会社(ドイツ他)、インド岡谷鋼機会社、タイ岡谷鋼機会社、サイアム スリヤ会社(タイ)、マレーシア岡谷鋼機会社、シンガポール岡谷鋼機会社、ベトナム岡谷鋼機会社、インドネシア岡谷鋼機会社、広州岡谷鋼機有限公司(中国)、香港岡谷鋼機有限公司(中国)、北京岡谷鋼機有限公司(中国)、天津岡谷鋼機有限公司(中国)、上海岡谷鋼機有限公司(中国)、台湾岡谷鋼機有限公司、韓国岡谷鋼機会社、豪州岡谷鋼機会社、Poland Tokai Okaya Manufacturing Sp. z o.o.、Union Autoparts Manufacturing Co., Ltd.(タイ) 他

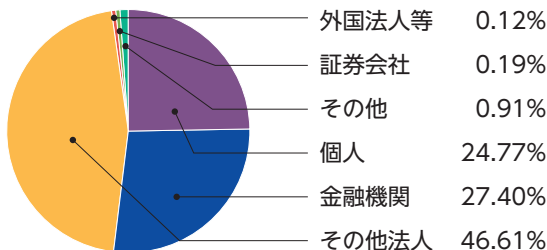
株式の状況 (平成27年8月31日現在)

株式の状況

株式数	
発行可能株式総数	35,571,200 株
発行済株式の総数	9,720,000 株
株主数	3,390 名

株式分布状況

所有者別割合



大株主の状況

株主名	持株数 千株	持株比率 %
岡谷不動産株式会社	1,214	12.60
岡谷篤一	481	5.00
株式会社三菱東京UFJ銀行	462	4.80
新日鐵住金株式会社	424	4.40
三井住友信託銀行株式会社	402	4.17
株式会社りそな銀行	265	2.75
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	251	2.60
岡谷鋼機社員持株会	183	1.90
オークマ株式会社	163	1.69
公益財団法人真照会	138	1.43

- (注) 1. 持株比率は自己株式 (85,704株) を控除して計算しております。
 2. 公益財団法人真照会は、将来社会に貢献し得る人材を育成し、併せて学術・技芸の振興を図るために必要な奨学援助をなすことを目的として、大正6年に創設されました。

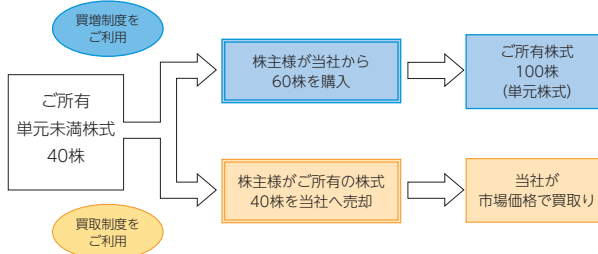
株式に関するお知らせ

単元未満株式の買取・買増請求について

当社の株式は1単元が100株となっており、単元未満株式(1~99株)については市場での売買はできませんが、当社に対して買取請求(売却)、または100株(1単元)となるよう買増請求(購入)をすることができます。お手続きの方法および用紙のご請求は、裏面記載の連絡先にお申し出ください。

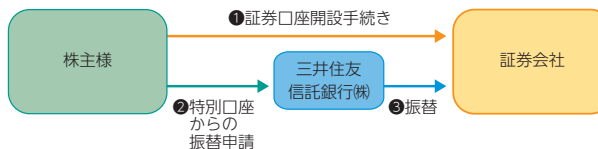
【単元未満株式買増・買取制度例】

○単元未満株式40株をご所有の株主様の場合



特別口座から証券会社の口座への振替申請について

特別口座*に記録されている株式については、特別口座のままでは売買できません(単元未満株式を除く)。様々なお手続きを円滑に行うためにも証券会社の口座への振替申請をお勧めします。



※特別口座
株券電子化前にほふり(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった場合に、当該株式が記録される口座です。

株主メモ

ホームページのご案内

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで
 定時株主総会 5月
 配当金支払株主確定日 期末配当 2月末日

中間配当 8月31日

公告の方法

電子公告
 ただし、電子公告によることができない
 やむを得ない事由が生じたときは、日本
 経済新聞に掲載いたします。

電子公告掲載ホームページアドレス

<http://www.okaya.co.jp/ir/pn/>

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社

連絡先 〒168-0063
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の
 全国本支店で行っております。

岡谷鋼機のホームページでは、決算短信
 等の詳しい財務データや各種IR情報を掲載
 しています。
 是非一度ご覧ください。



・岡谷鋼機ホームページアドレス
<http://www.okaya.co.jp/>

株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、①証券会社の口座に記録されている場合と、②特別口座に記録されている場合で、下記のとおり異なりますので、該当の窓口にお問い合わせください。

証券会社の口座に記録された株式	
お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> 単元未満株式の買取・買増請求 届出住所・姓名などのご変更 配当金の受領方法・振込先のご変更 	□座を開設されている 証券会社
<ul style="list-style-type: none"> 郵送物の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	三井住友信託銀行 株式会社証券代行部

特別口座に記録された株式	
お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> 単元未満株式の買取・買増請求 特別口座から証券口座への振替請求 届出住所・姓名などのご変更 配当金の受領方法・振込先のご変更 	三井住友信託銀行 株式会社証券代行部
<ul style="list-style-type: none"> 郵送物の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	

「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねて
 おります。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。ただし、株式数比例配分
 方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社にて行われます。確定申告
 を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取の株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封
 させていただきます。

確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。



岡谷鋼機株式会社



見やすく読みまちがえにくい
 ユニバーサルデザインフォント
 を採用しています。



環境に配慮した
 植物油インキを
 使用しています。